

報道関係者 各位

お客様に対して誠実なマネパだからできること 9年連続 約定力No.1を獲得

株式会社マネーパートナーズ（本社：東京都港区 代表取締役：奥山泰全 以下：マネーパートナーズ）の「パートナーズFX」は、株式会社矢野経済研究所（本社：東京都中野区 代表：水越孝）が実施した、主要FX会社7社へのFXサービスパフォーマンステストにおきまして、調査結果で唯一、スリッページ発生数0件、約定拒否発生数0件という結果で、「すべらない約定率」第1位となりました。

本調査の結果を受け、マネーパートナーズの約定力は9年連続No.1を獲得いたしました。

【スリッページ許容設定を「1pip」に設定した場合の米ドル/円における結果】

No.	会社名	公表スプレッド	発注件数	約定拒否発生数	約定件数	約定率	スリッページ発生数	スリッページ発生率	すべらない約定数	すべらない約定率
1	マネーパートナーズ	0.3 銭	200 件	0 件	200 件	100.0 %	0 件	0.0 %	200 件	100.0 %
2	D社	0.3 銭	200 件	0 件	200 件	100.0 %	3 件	1.5 %	197 件	98.5 %
3	A社	1.0 銭	201 件	1 件	200 件	99.5 %	4 件	2.0 %	195 件	97.5 %
4	E社	0.3 銭	200 件	0 件	200 件	100.0 %	8 件	4.0 %	192 件	96.0 %
5	B社	0.3 銭	200 件	0 件	200 件	100.0 %	22 件	11.0 %	178 件	89.0 %
6	C社	0.3 銭	200 件	0 件	200 件	100.0 %	25 件	12.5 %	175 件	87.5 %
7	F社	0.3 銭	200 件	0 件	200 件	100.0 %	33 件	16.5 %	167 件	83.5 %

(調査結果より抜粋)

(株)矢野経済研究所調べ(2017年12月)

※「すべらない約定」とは、スリッページや約定拒否が発生せず、注文した通りのレートで約定することを意味します

◆約定力とは…

スリッページや約定拒否が発生せず、お客様の意図するタイミングと価格での取引ができる力を指します。

◆スリッページとは…

実際に見て注文した価格と、異なる価格で注文成立することをいいます。

◆約定拒否とは…

注文をしても、約定しないことをいいます。

本来得られる利益を失ってしまったり、損失が大きくなる場合があります。

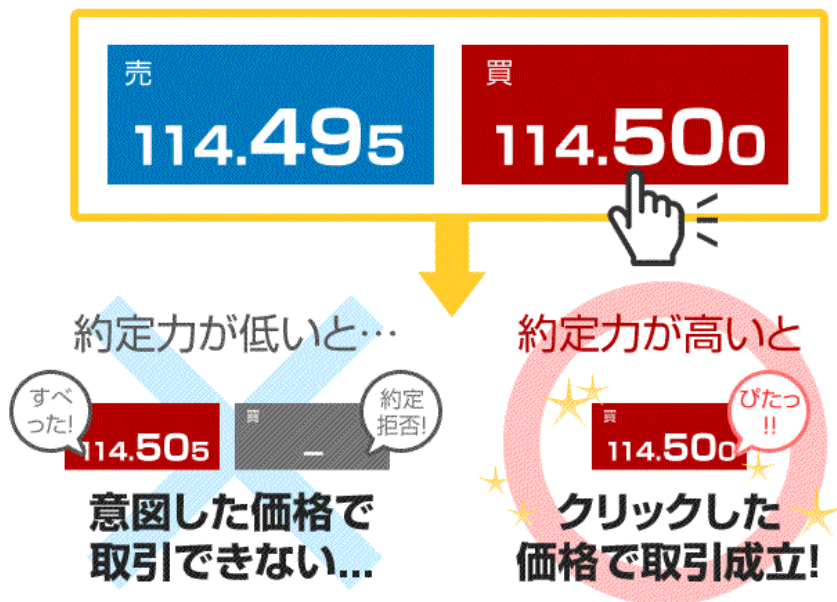


マネーパートナーズが約定力を重視する理由

マネーパートナーズでは、注文した通りの価格で、しっかり約定する約定力を創業以来大変重視しております。スリッページや約定拒否が発生すると、取引タイミングを逃し、想定通りの利益を生むことができなかつたり、相場の急変時や大きく動いているときなどにおいて、お客様のお取引口座で想定外の損失が発生する恐れがあります。

また、狭いスプレッドをうたっているにもかかわらず、実際に提示されたレートで約定しない場合、そのメリットはお客様に提供されていないことと同じだと考えております。そして、不利なレートでも約定しようということは、お客様の信頼を失うことにもなりかねません。

たとえば、表示価格の「114.500」で
買いたいと思い取引ボタンをクリックした場合…



マネーパートナーズは2年連続で、オリコン顧客満足度ランキング「FX取引」において、総合1位の評価をいただいております。約定力の高さは、一見してわかるものではありませんが、継続してお取引いただいているお客様のあいだで、提示レートと約定レートの乖離がないという信頼が、この度の評価につながったものと自負しております。



【プレスリリース】

オリコン顧客満足度ランキング「FX取引」において2回連続総合1位を獲得

これらの結果を受け、当社ではお客様の意図するタイミング・価格での取引を実現する力 = 約定力を重視し、公平かつ価格の透明性の高いFXサービスを提供し続けることで、お客様にとって不可抗力である「業者都合による約定価格の変動、機会損失のリスク」をなくすと共に、引き続き、更なるお客様満足度の拡充を行ってまいります。

【調査要綱】

(1) 調査の目的

主要 F X 会社における、FXサービスのスリッページ発生率・約定率等の調査

(2) 調査日程

2017年12月11日（月）から12月12日（火）

(3) 調査時間

米ドル/円：日本時間の20時～21時の1時間程度

(4) 調査対象通貨ペア

米ドル/円

(5) 調査対象

矢野経済研究所「2017年版 FX(外国為替証拠金取引)市場の動向と展望」より

2016年度（2016年4月～2017年3月）の有力企業のうち任意に抽出した7社を選定

(6) 調査の方法

- ・Web版の取引ツールを使用
- ・マーケット注文（ストリーミング）で、買（新規）⇒売（決済）を繰り返す
- ・米ドル/円は1日50売買の100約定×2日＝200約定
- ・発注単位は1万通貨単位
- ・スリッページ許容設定を「1pip」に設定
- ・調査の精度を向上させるため、同スペックのPC、インターネット回線を使用
- ・マネーパートナーズは「パートナーズFX」を使用

マネーパートナーズとは

マネーパートナーズは、オンラインでの外国為替証拠金取引の専門会社として初めて上場を果たし※1、昨年6月に上場10周年を迎えました。その間、インターネットを利用したサービスの簡素化を追求、手数料などの無駄を省き、日本最安コストの外貨両替とチャージ式のカード発行事業を拡大させてまいりました。※2 また、最近では、ビットコインをはじめとする仮想通貨への対応を始めており、直近では関東財務局長第00001号として仮想通貨交換業者登録が完了いたしました。

主力商品である外国為替証拠金取引では、1万通貨単位、P Cからのストリーミング注文は100%スリッページなしで約定力9年連続 N o . 1の「パートナーズ F X」※3と、100通貨単位で初心者向けの「パートナーズ F X nano」の、2種類のサービスを提供中です。

また、マネーパートナーズの発行するマネパカードは、ネット上で F X 会社のスキームを活かした大変お得なレートで両替ができ、対応する6つの通貨（米ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドル、香港ドル、日本円）をチャージすることで、世界210以上の国と地域にある、250万台以上のMasterCardマークのあるATMと、3800万店舗以上のMasterCard加盟店にて、おさいふ感覚でご利用頂けるカードです。この他、F X サービスと連携している外貨両替・受取サービスで、両替した外貨の紙幣を、国内主要空港のカウンターで受け取ることも可能です。

今後とも、マネーパートナーズをどうぞご贖ってください。

※1 当社100%親会社のマネーパートナーズグループとして

※2 株式会社矢野経済研究所 平成29年5月実施「外貨両替コスト比較調査」
対象：米ドル・ユーロ・英ポンド・スイスフラン数量1500通貨以上の調査結果

※3 平成29年12月株式会社矢野経済研究所「FXサービスパフォーマンステスト」において

株式会社マネーパートナーズ

URL: <https://www.moneypartners.co.jp/>
会社名 株式会社マネーパートナーズ
所在地 東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー33階
設立 2008年5月9日
代表者 代表取締役社長奥山泰全
事業内容 金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引、有価証券関連業務及びこれに付随する一切の業務
外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務
金融商品取引業及びこれに付随する業務
資金移動業 商品先物取引業
資本金 31億円（平成29年3月31日現在）

FX取引(外国為替証拠金取引)、商品CFD取引および証券取引に関するご注意

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、取引の額の4%の額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちいずれか大きい額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

<商号>株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)
<金融商品取引業の登録番号>関東財務局長(金商)第2028号
<加入協会>日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会